

フィリピン共和国 NSO 出生証明書 日本語訳について

(1993年版 改訂版)

このドキュメントはフィリピンのNSO発行の出生証明書 (CERTIFICATE OF LIVE BIRTH) を hirokim house が日本語訳したものです。項目はなるべく原意に近い形で日本語訳しておりますが、使用に関しては各自の判断のもとに行なってください。翻訳の間違いの可能性もあります。もし間違いを発見された方は hirokim house までご連絡をいただければと思います

この出生証明書はPDF形式で提供されています。またこのPDFはコンピュータで項目が入力できるようになっていますので、入力して印刷することが可能です。(入力したものを保存することはできませんので必要数を印刷して使用して下さい。)

【内容】

1. 出生証明書 日本語訳 (CERTIFICATE OF LIVE BIRTH)
2. 認知宣誓供述書 日本語訳 (AFFIDAVIT OF ACKNOWLEDGEMENT/ADMISSION OF PATERNITY)
3. 出生遅延登録に関する宣誓供述書 日本語訳 (AFFIDAVIT FOR DELAYED REGISTRATION OF BIRTH)

【対象となる出生証明書のタイプ】



【使用に関してのお願い】

本翻訳に関するすべての権利は hirokim house Tokyo Japan が保有しております。個人的な使用の範囲を超えた使用・再配布・複製等は禁止されております。また本フォーマットを使用しての商行為は固くお断りしておりますのでご了承下さい。本フォーマットを使用して発生した損害等には hirokim house には一切責任がありません。

フィリピン共和国 出生証明書 (日本語訳) 2010年1月31日 翻訳版

© hirokim house Tokyo Japan All rights reserved.

<http://www.hirokim.ph/>

地方自治体書式 第102- (1993年1月改定)		(4枚複写で作成すること)		特記事項/連絡事項
フィリピン共和国 民事登記官長事務所 出生証明書 (完全に、適切に、そして丁寧に記入して下さい。インク又はタイプライターを使用して下さい) 2, 5a, 5b そして19aの項目は適当な回答の前に X を記入				
州 (地方) _____ 市/地方自治体 _____			登録番号 _____	
子	1. 氏名 (ファースト) _____ (ミドル) _____ (ラスト) _____		OCR使用欄 人口統計No. _____	
	2. 性別 _____ 1 男 _____ 2. 女	3. 出生日 (日 月 年) _____		
	4. 出生地 (病院名・クリニック名・研究所名/番地・通り) _____ (市・地方自治体) _____ (州・地方) _____			
	5a. 出産数のタイプ _____ 1 一人 _____ 2. 双子 _____ 3 三つ子		b. 複数出産の場合、子供は _____ 1. 一番目 _____ 2. 2番目 _____ 3. その他(明記 _____)	
	c. 出生順位 (出生・胎児死亡を含む出生の順位。 _____ 1番目・2番目・3番目等)		d. 出生時の体重 _____	
	6. 旧姓 (ファースト) _____ (ミドル) _____ (ラスト) _____			
母	7. 国籍 _____		8. 宗教 _____	
	9a. 生きている状態で出生した子供の総数 _____	b. この出産を含み、現在も生存している子供の数 _____	c. 生きている状態で生まれたが現在は死亡している子供の数 _____	
	10. 職業 _____		11. この出産時の年齢 _____	
	12. 住居 (番地・通り・町内) _____ (市・地方自治体) _____ (州・地方) _____			
	13. 氏名 (ファースト) _____ (ミドル) _____ (ラスト) _____			
父	14. 国籍 _____		15. 宗教 _____	
	16. 職業 _____		17. この出産時の年齢 _____	
	18. 両親の婚姻の場所及び日付 (もし未婚であるなら、父方の認知宣誓供述書(2ページ目)を作成してください)			
19a. 出産立会人 _____ 1 医師 _____ 2 看護婦 _____ 3 助産婦 _____ 4 ヒット(伝統的助産婦) _____ 5 その他(明記)				
19b. 出生の証明 私は本出生児の出産に、記載日の (□午前 □午後) _____ 時 _____ 分に立ち会ったことを証明いたします。 氏名 _____ 住所 _____ 役職・職業 _____ 日付 _____				
20. 通知者 氏名 _____ 住所 _____ 子供との関係 _____ 日付 _____				
21. 作成者 氏名 _____ 役職・職業 _____ 日付 _____			22. 民事登記官長事務所受付担当者 氏名 _____ 役職 _____ 日付 _____	

1998年8月3日以前の出生/1988年8月3日以後の出生用

認知宣誓供述書

子どもの片親/両親である私（私たち）、 _____ 及び _____ は
ここに記載された情報が私たちの認識と信ずるところの限り、真実で正しいものと出生証明書の中で厳粛に誓うものです。

(父親の署名)

(母親の署名)

納税証明 No. _____

納税証明 No. _____

発行日 _____

発行日 _____

発行場所 _____

発行場所 _____

フィリピン共和国 _____ において _____ 年 _____ 月 _____ 日に 私の前で署名・宣誓されました。

(管理官署名)

(役職名)

(印字の氏名)

(住所)

1931年2月27日以前の出生には適用されません

出生遅延登録に関する宣誓供述書

本人自身が18歳かそれ以上の者、または父親/母親/保護者はこの宣誓供述を行なうことができます

法定年齢(未婚/既婚)を満たし、 _____ に住所を持ち居住している
私、 _____ は法に従い正式に宣誓した後、これによって供述を行なうものです。

- 私は、(私の出生 / _____ の出生) の遅延登録に関する申請者です。
- 私/彼/彼女は _____ 年 _____ 月 _____ 日に _____ で生まれました。
- 私/彼/彼女の出生には _____ に住む
_____ が立ち会いました。
- 私/彼/彼女の国籍は _____ です。
- 私の両親は _____ で _____ 年 _____ 月 _____ 日に結婚しました
 結婚はしていませんが、 _____ という名の私/彼/彼女の父親に認知されました。
- 私/彼/彼女の出生登録が遅延した事由は _____ によるものです。
- 出生証明書の写しの使用用途は _____ です。
- (申請者のみ) 私は _____ と結婚しています。
 (父親/母親/保護者のみ) 私は前述の人の _____ です。

(宣誓供述人)

納税証明 No. _____

発行日 _____

発行場所 _____

フィリピン共和国 _____ において _____ 年 _____ 月 _____ 日に 私の前で署名・宣誓されました。

(管理官署名)

(役職名)

(印字の氏名)

(住所)

(翻訳者の記載)

氏名: _____

印

住所: _____

電話番号: _____

行政官・民事登記官長
国家統計局